

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生物化学分析検査研究班 提出日：令和 3 年 8 月 5 日 報告者：佐藤 文明

行事種別	研究会	行事番号	210000654	
開催日	令和 3 年 7 月 3 日 (土) ~ 令和 3 年 7 月 16 日 (金)			
時間	開始	—	終了	—
場所	Web 配信 (オンデマンド配信)			
テーマ	甲状腺について学ぼう！			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司会	—			
講師	<p>講演 1. 「甲状腺の基礎と疾患」 名古屋第二赤十字病院 吉川 実季</p> <p>講演 2. 「甲状腺に関する各種検査」 名古屋市立緑市民病院 清水 和樹</p> <p>講演 3. 「甲状腺機能の基礎と検査および TSH ハーモナイゼーションの状況」 アボットジャパン合同会社 学術情報室 村上 聡</p>			
内容	<p>今回実施の研究会は「甲状腺」をテーマに、講演 1 では、「甲状腺の基礎と疾患」と題して、甲状腺に関する基礎知識、また甲状腺疾患について基礎的知識向上を目的とし講演した。講演 2 では、「甲状腺に関する各種検査」として、TSH をはじめとする甲状腺各種検査についてまとめて講演した。また、各検査における臨床的意義を踏まえ、鑑別診断についても纏め、分かり易く解説した。代表的な甲状腺疾患の症例を踏まえ、甲状腺関連検査および、その他検査データからも症例を読み取る演習も盛り込んだ内容であった。講演 3 では、「甲状腺機能の基礎と検査および TSH ハーモナイゼーションの状況」と題し、メーカーより講演いただき、最新の知見として TSH ハーモナイゼーションに関して、概要から本取り組みの経緯・進捗状況が詳しく纏められており、ハーモナイゼーションの動向を確認することができる内容であったと言える。TSH ハーモナイゼーションに関しては、IFCC 基準適合検査値の運用につき、各施設においての判断・留意すべき点がある。以上を踏まえ、試薬間差のない共通の指標を用いた診療環境を早く整備することで、医療の質の向上を図るべきと考える。</p> <p>今後も最新の知見を配信することで、各施設・会員の一助となれば幸いである。</p>			
参加者	総数：160 名 (愛臨技会員 130 名、県外会員 30 名)			
共催、後援など	なし			